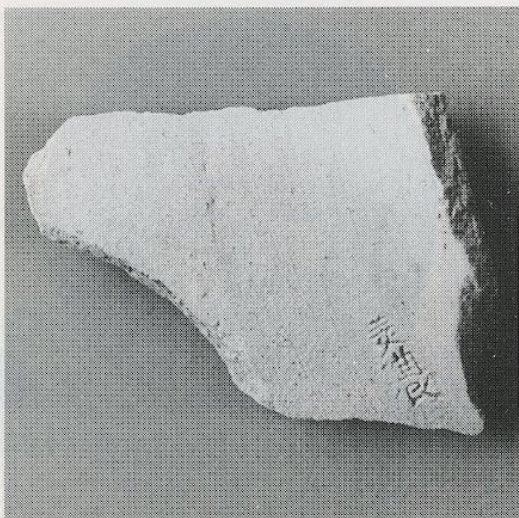


土の中からのメッセージ②

かつて太田町内には、「太田大塚」(美濃太田駅北方)など数多くの古墳がありました。今では西総合グラウンド南西方、坂祝町境にあるトドメキ古墳の二基(南側・高さ約5m/周囲65m、北側・高さ約4m/周囲約46m)だけになりました。美濃太田駅北から坂祝町酒倉に続く段丘の端に、下に広がる水田地帯を見下ろすように造られています。

昭和四十六年、西中学校の郷土研究クラブがトドメキ古墳の北側の畑で「美濃」と刻印された土器(硬く灰黒色に焼かれた須恵器)の破片(写真左)を発見しました。調査の結果、この土器は八世紀前半、岐阜市芥見の老洞古窯おいぼらで焼かれ、朝廷へ貢



納されていたものと同じものであることがわかりました。なぜ、この土器がここで発見されたのか、中央との関連はあったのかなど興味もたれるところです。

今回、次の方々から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

(平成四年四月分)

○古書 一点

(木村宣教さん/加茂野町)

○ムギ打ち、着火用のつけ木など 二点

(柴田文夫さん/三和町)

○戦中の子ども服など 十点

(兼松豊志さん/本郷町)

○防衛食容器 一点

(天春富夫さん/森山町)

○江戸時代の暦など 二点

(福田忠夫さん/山之上町)

○明治期の岐阜県地図など三点

(安藤志郎さん/川合町)

○明治期の櫛くしなど 八点

(篠原花子さん/太田町)

○縄ない機、湯たんぽなど八点

(山田武司さん/本郷町)

近い将来の博物館建設に向けて情報や資料を集めています。資料は見せていただくだけでも結構ですので、市社会教育課(内線三六二)まで情報をお寄せください。